

玉川学園模擬選挙授業指導案 2010年2月

時	1 時限 ~ 2 時限	指導者	硯 合 (そあい) 宗 隆	教室番号	3 1 5
単元	模擬選挙を体験				
単元の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 選挙とはどのようなものか体験させることを通してイメージを持たせる。 2. 若年層の投票率の現実を知るとともに選挙の意義について考える。 3. メディアリテラシーの観点から、ポスター・マニフェスト・選挙公報などの比較を通して読み方を学ぶ。 				
指導の経過	<ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬選挙を行う意義の説明と該当選挙（市長選・参院選など）の解説 2. 選挙公報や各候補の主張を比較した新聞記事の比較（グループワーク） 3. グループで疑問点・気づいた点・共感する点などを発表 4. 投票 5. 振り返り 				
本時の題材	1. 模擬選挙を実施				
本時の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投票行動の実践を通して、選挙への理解を深める。 2. ポスターやマニフェストの比較を通して、隠されたメッセージを読み解く。 				
本時の学習展開	<p>ポスターを掲示したりして教室の雰囲気づくりを心がける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬選挙の意味の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・20歳代の投票率の現状（約30%） ・選挙にまつわる基礎知識の確認 ・18歳選挙権への引き下げの現状にも触れる 2. マニフェスト・選挙公報・新聞記事などを配布し、比較 <ul style="list-style-type: none"> ・5～6人のグループに分けて、気づいたこと、疑問点、感想などをあげる。 ” 「なぜ」がたくさん考えられ見つけられればそれだけよい！ ” <p style="text-align: center;">----- ここまでで1時限を使ってもよい。 -----</p> 3. 生徒から出た意見や疑問について解説やクラス全体でフィードバック 4. 投票 <ul style="list-style-type: none"> ・投票の前に、選挙の原則について簡単に説明（普通選挙・平等選挙・秘密選挙・自由選挙や公職選挙法違反となるような行為の紹介） ・立会人たてたり、ホンモノそっくりの投票用紙を使用する（選管から記載台や投票箱を借用できればよい） 5. 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・何を基準に投票したか・投票をして何を感じたかなどを振り返る 				
備考	<p>開票作業は、生徒にやらせてもよい。</p> <p>投票結果は、必ず実際の選挙の後に公表する。（公職選挙法に抵触する可能性があるため）</p> <p>実際の選挙結果と比較すると興味深い。</p> <p>選管から物品借用した際には、お礼を兼ねて結果報告をすると喜ばれる。但し、選管によって対応は異なるので臨機応変に対応することが肝要。</p>				